



【 偏光解析にもとづくコンピュータビジョンの研究 】

【 研究キーワード：コンピュータビジョン 】

情報科学研究科 知能工学専攻

准教授 宮崎大輔 MIYAZAKI, Daisuke

研究シーズの概要

偏光を利用したコンピュータビジョンの研究をおこなっています。コンピュータビジョンは画像を解析することでその画像に関する情報を取得する分野です。偏光を用いることで、表面形状を計測したり、画像から霧を除去したりできます。

研究シーズの詳細

◆研究例◆

偏光カメラで物体を撮影し、複数枚の画像を用いることで、物体の表面形状を計測することができます。

◆研究例◆

もやのかかった天候において、偏光カメラで撮影することで、もやのかかっていない状態の画像に改善することができます。

想定される用途・応用例

- ◆製品の欠陥検査
- ◆画像の画質改善

セールスポイント

コンピュータビジョンの分野で偏光を用いる研究者は少ないため、企業の方からよく相談を受けます。私自身は情報科学が専門で物理学は専門ではありませんが、偏光を業務として用いる企業の多くは物理学や材料工学の分野から研究開発をおこなっており情報科学が専門ではないケースが多いと思います。それぞれの分野を活かした新たな研究開発につながると思います。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)